

日時：2012年12月8日（土）14:00～
 場所：北海道大学人文社会科学教育研究総合棟
 （W棟）202教室



19:00～ 懇親会

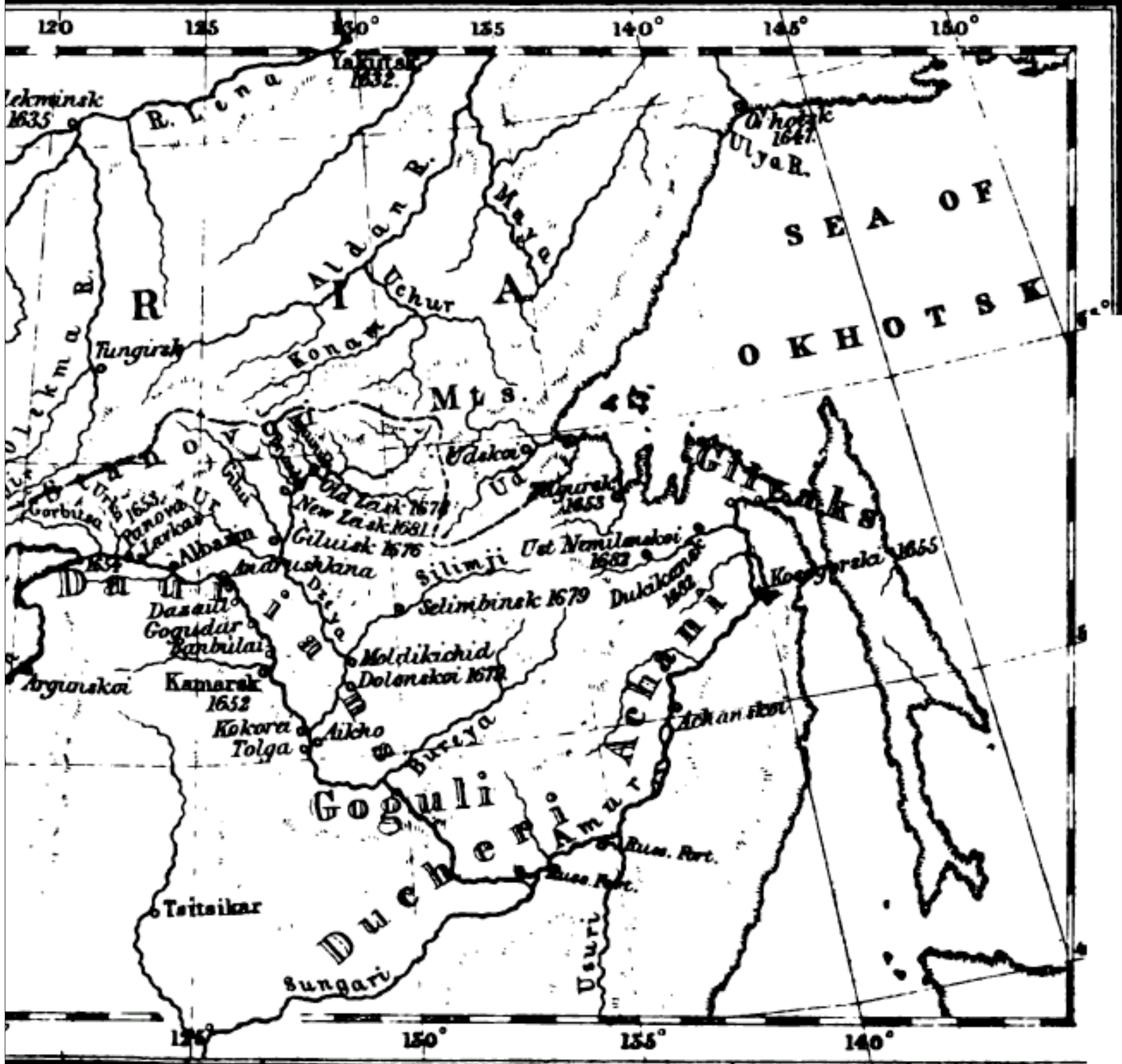
第1セッション 14:00～15:20
 井上紘一（北海道大学名誉教授）
 「訳書コンスタンチン・ガポネンコ
 『樺太・瑞穂村の悲劇』をめぐって」
 コメンテータ：天野尚樹

第2セッション 15:30～16:50
 舟川はるひ（来日ロシア人研究会）
 「ウラジオストク総領事館員拘禁事
 件の真相を追いかけて」
 コメンテータ：原暉之

第3セッション 17:00～18:20
 シェリル・コラード（米国ペパー
 ダイン大学准教授）
 「太古以来のロシア？：1849～
 1855年アムール調査期のサハリ
 ンを観を検証する」
 ※報告は英語、質疑応答は通訳付
 き、日本語訳テキストあり

第23回例会

サハリン樺太史研究会



London, Trübner & Co